

大山温泉あさひ荘は市内2業者と交渉中。結論は来月下旬までに 私の一般質問に市長・担当部長が答弁



12月議会の一般質問が終わり、私は12日に登壇し、村山市長に大山温泉あさひ荘の再開問題、(仮称)厚生産業会館の建設問題、産業建設グループの集約など総合事務所の在り方について質問しました。

光部長は、私の再質問に答えて、現在交渉中の業者は市内の2社であり、来年度予算編成との関連もあるので、1月の末までには結論を出したいとのべました。

答申を尊重する姿勢に立つべきだ

(仮称) 厚生産業会館建設問題

(仮称) 厚生産業会館については、高田区域協議会が4つの意見を付して、市がまとめた基本構想案は不相当だとの答申を出しています。「高田区域協議会の答申をどう受け止めているか。(仮称) 厚生産業会館については今後どうするのか」と質問したところ、市長は、「高田区域協議会からの答申は非常に残念に思っている」「(同地域協議会に対しては) 当市の考えを丁寧

に回答するとともに、広く

市民の皆さんのご意見を聞くためパブリックコメントを実施する旨、通知した」「今後は、パブリックコメントでより多くの方々からご意見を伺いながら、基本構想をまとめていきたい」と答えました。

「不相当だ」との答申後に行われた記者懇談会での市長発言には、「誰がどういう発言をされ、どういう形でリードされてこうなったか」という信じられない言葉もありました。答申をもらっていないながら、基本構想案をなんら見直すことなく、市の考えを丁寧に説明すると称して徹底反論をしていく。これでは全国の自治体から評価されている地域協議会の仕組みを壊すこととなります。

あまりにもひどい認識なので、再質問で私は「答申として受け止めるか」と聞きました。市長は「答申として受け止める」と答えました。市長は「答申として真摯に受け止めるなら、平成19年に「上越市における都市内分権及び住民自治に関する研究会」が研究報告書で示したように、答申については行政側が「強い努力義務」を負うという立場で尊重すべきです。

産業建設グループの集約など総合事務所についての質問は別の機会にお知らせします。

は、10月に大島まちづくり振興会が中心になって取り組んだアンケート結果をどう受け止めるか、また市内の民間業者が同施設の経営の検討をしていることについて、業者との交渉状況、見直しなどを尋ねました。

これに対して市長は、「市としては、アンケートの結果を含め、再開を望まれる地域の皆さんのお気持ちを受け止める一方で、仮に再開する場合には、民間の経営ノウハウや専門的な能力の活用が必要であるとの判断から、担い手となり得る事業者を探ってきた。その結果、施設運営に関心を持つ複数の民間事業者から申し出があり、この間、各社に対し、これまでの運営状況を説明するとともに、施設修繕の見直しや指定管理委託料の条件等について、協議を行ってきた。なかなか難しい状況ではあるが、引き続き意欲ある事業者との協議を進め、その推移を見極めた上で、施設再開の可否を判断してまいりたい」と答えました。また柴山産業観



再開を待つ大山温泉あさひ荘。12月6日、橋爪が撮影。

北朝鮮の「ロケット」発射で抗議…日本共産党志位委員長

北朝鮮は、12月12日、「ロケット」発射を行った。これは、アジア各国をはじめ国際社会の懸念と打ち上げ自制を求める声が無視し、「弾道ミサイル技術を利用した発射」の中止を求めた国連安保理決議1874号(2009年6月)に違反する行為である。

日本共産党は、北朝鮮が情勢を悪化させる発射を再び強行したことに強く抗議する。日本共産党は、北朝鮮が国連安保理決議を順守し、2002年の日朝平壤宣言、2005年の6カ国協議の共同声明に立ち返るよう強く求める。

国連安保理をはじめ国際社会が、非軍事・外交的手段に徹しながら、この地域の緊張をこれ以上高めることなく、一致した対応で北朝鮮への働き掛けを抜本的に強めるようよびかける。

いきなり冬將軍がやってきました。除雪車の音が初めて聞こえてきた日は風は強く、雪は横殴りでした。こういうときは外へ出るのがおっくうになりますし、食べ物はやはり温かいものがほしい。

この日、お米をといでいる時に、テレビから「自分鍋」という言葉が流れてきました。どういう番組だったかわかりませんが、これがストリートに響いてきましたね、「おれがふだん作っている鍋料理だな。これでいこう」と思ったのです。

すぐに、どんな野菜がまわりにあるかを確認しました。玄関先には尾神でもらった一本ネギがあります。あと牛舎には白菜、ジャガイモ、チンゲン菜がある。「よし、これなら作れるぞ」そう思いながら、準備に入りました。

まずは鍋料理用の平たい鍋に水を三分の一ほど入れて沸かす。ジャガイモの皮をむく。白菜とチンゲン菜は使えないところを切り落とし、丁寧に水洗いをする。あとはもう、まったく自分流です。

鍋の水が沸くのを待って、最初にきざんだジャガイモを入れました。しばらくしてから今度は一枚一枚の葉にばらしたチンゲン菜を、次いで白菜という順番です。白菜は丸ごと鍋の上に持って行き、包丁でバサツ、バサツと削り落とす。最後はネギ、これはまな板の上で斜めに大きく切断しました。ネギの葉の先の方を切ると葉の中に入っていた空気がスーッと抜けていきます。

この後に鍋の中に入れたものはふたつ。ひとつは味付けのサンマの缶詰です。昔、母がカレーをつくる時に肉の代わりに缶詰を使っていたことがありましたが、鍋料理でも同じように使えます。これがまたいい味を出してくれます。

もうひとつはカレーです。カレーライスではないので固形のルーは小さいものを五、六個入れるだけにします。鍋に入れるタイミングは白菜などが煮あがり、落ち着いた頃です。ルーを入れたら、溶け込んでいくのじっと待ち、最後はお玉でゆつくりとかき混ぜる。これで出来上がりです。

どうです、湯気の立つのが見えてきたでしょう。匂いもいいですよ。ゆつくりと煮込んだものは野菜でいっぱい、栄養満点です。

出来上がった鍋料理はレシピを見て作ったわけではありません。家にある材料を使い、味付けも適当にやりました。こうした料理方法では口に入れてみてからでないと分からないことがあります。今回はジャガイモを小さく切り過ぎたようで、鍋の中のどこにあるかわからないくらい大きくなってしまいました。

でも味は今回も満足のいくものでした。薄く小さくなったジャガイモは甘く、口の中でとろけるような白菜もいい。サンマが出してくれた味はカレー味に隠れてしまったものの、やはりサンマ自体はどこにあるかと探したくなります。たくさん作ったこともありますが、この日はご飯の茶碗とほぼ同じ分量が入る入れ物で三杯も食べ、体はじつによく温まりました。

さて、妻が帰ってきた時、私の作った鍋料理をどうするか、やはり気になりました。私よりも先に帰宅した妻はすぐに温めなおし、食べたようです。そして、鶏肉が焼いてありました。「ジャガイモ、入れればよかったのに」「鶏肉入れるともっと美味しくなるよ」という私への言葉にはちよっぴりショックでしたが、素直に従いました。妻が焼いた鶏肉を入れたら、たしかにぐんと美味しくなりました。

中越沖地震の際、柏崎刈羽原発は危機一髪だった

7日の総務常任委員会で、「つなげよう脱原発の輪 上越の会」（代表は植木史将さん）が議会に提出していた「柏崎刈羽原発の再稼働を認めないよう求める請願」の審査が行われました。

同請願は、「柏崎刈羽原発は、中越沖地震で甚大な被害を受け大事故寸前になった。そして柏崎刈羽原発の周辺には活断層が存在し、今でも原発の構造上安全とは言い切れない状態である」が、政府と東京電力が



陳述する植木史将さん

再稼働を計画しているの、市民の生活と市民の命を守るために市議会から関係機関に柏崎刈羽原発の再稼働は認められないという意見書を提出してほしいというものです。

植木代表から意見陳述があったのち、各委員が意見表明をしました。私はトップに発言を求め、「柏崎刈羽原発は中越沖地震によって3665件の事故・故障が発生した。地震当日、2号機では水位を調節するポンプが故障し、かろうじて全号機が冷温停止したのは21時間後で、一歩間違えば冷却できず爆発の危険もある状態だったという。ともす

れば、福島原発事故よりも先にここで爆発が起きていた可能性がある。また、原発周辺には活断層がいくつもあり、いくつかの断層が連動する可能性も指摘されているし、専門家の話では原発直下にも活断層があるともいわれている。さらにもう一つ、原発の30キロ圏内には80万人もの人たちが暮らしていて、事故が起きても逃げようがない。いま止まっている原発は二度と動かしてはならない」と訴えました。

委員会では賛成少数で不採択となりましたが、正式には17日の本会議で決まります。議員に働きかけを！

	12月5日(水)	12月12日(水)
上越南消防署	0.040	0.030
上越北消防署	0.047	0.050
新井消防署	0.047	0.050
頸北消防署	0.053	0.063
頸南消防署	0.050	0.043
東頸消防署	0.050	0.047
高士分遣所	0.047	0.043
名立分遣所	0.050	0.040